

No.	012	—	1023	事務事業名	火葬場管理運営費						公的関与	8	
PLAN	課名	環境保全課		係名	環境対策係		電話番号	089-964-4415		メールアドレス	kankyohozen@city.toon.ehime.jp		
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営		実施計画	該当	事業期間	平成 7 年度 ~			
	総合計画	政策目標	2 安全で快適な社会基盤のまち		政策項目	3 環境施策の総合的推進			主要施策	5 墓地・火葬場の適正管理			
	事業の目的	火葬施設としての円滑な業務の推進を図るため。						根拠法令等					
	事業の手段	施設の老朽化に伴う修繕工事並びに火葬炉施設の補修及び改善工事を行います。						掲載計画					
	達成度を測る指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	最終目標		
		事故や故障等による施設の稼働停止件数		事故や故障等が無いよう施設の適正な維持管理に努めることが市民サービスにつながる。			件	目標	0	0	0	0	
								実績	0	0			
								目標					
								実績					
						目標							
						実績							
DO	活動内容	① 年間を通した火葬処理業務の実施				④							
		② 年間を通した施設管理業務の実施				⑤							
		③ 施設設備の維持管理											
	予算費目	会計	一般会計			費目名	衛生費			費			
	直接事業費		令和 2 年度決算	令和 3 年度決算	令和 4 年度予算	備考							
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	36,267 千円	34,190 千円	24,079 千円								
	計(A)	36,267 千円	34,190 千円	24,079 千円									
人件費(B)	正職員工数・経費	0.178 人	1,104 千円	0.157 人	991 千円	0.160 人	1,010 千円						
	臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円						
全体事業費(A+B)		37,371 千円		35,181 千円		25,089 千円							
一次評価者	環境対策係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	本施設は、生活上必要不可欠なものであり市民に対して安心、安全で快適に利用できるよう維持管理する必要があります。また火葬業務に支障のないよう継続管理に努めます。												
有効性	継続的な維持管理により長期にわたり使用ができ経済効果を得ることができます。												
達成度	保守点検や必要な施設改修を行うことにより、円滑な運営・管理ができています。												
効率性	控室においては、和室2部屋のうち1室をバリアフリー化し、移動間仕切りにより2部屋に増室することで高齢化、葬儀の多様化に対応しています。												
当面の課題	建屋の老朽化により、修繕箇所が増加する見込みです。また、将来的に炉の老朽化に伴い、新しく入替を行う必要があります。												
改計画	業務の円滑化や快適な利用ができるよう利用環境の整備保全に努めます。												
二次評価者	環境保全課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項	建屋自体の老朽化が目立ってきています。大規模改修も視野に入れた上で、計画的に修繕を行い、維持管理に努めて下さい。												

No.	012	—	1024	事務事業名	市営墓地管理費						公的関与	8	
PLAN	課名	環境保全課		係名	環境対策係		電話番号	089-964-4415		メールアドレス	kankyohozen@city.toon.ehime.jp		
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営		実施計画	該当	事業期間	昭和 54 年度 ~			
	総合計画	政策目標	2 安全で快適な社会基盤のまち		政策項目	3 環境施策の総合的推進			主要施策	5 墓地・火葬場の適正管理			
	事業の目的	市営志津川墓園の適正な管理、運営を行い、市民への墓地の提供、快適な利用をしていただき、公衆衛生の向上と公共の福祉に寄与すること及び良好な環境の確保のため。						根拠法令等	墓地、埋葬に関する法律				
	事業の手段	墓地台帳等を適正に管理し、共有施設等では委託業者への維持管理指導を行い、利用者への適正な利用依頼を行い、良好な環境を維持します。						掲載計画					
	達成度を測る指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	最終目標		
		志津川墓園使用申込み基数	3号区の使用許可基数	基	目標	3号区:3	3号区:1	3号区:1	全区画の使用許可				
					実績	3号区:0	3号区:7						
		志津川墓園使用申込み基数	4号区の使用許可基数	基	目標	4号区:4	4号区:4	4号区:4	全区画の使用許可				
					実績	4号区:4	4号区:2						
				目標									
			実績										
活動内容	① 墓地台帳の異動			④									
	② 施設の除草・清掃			⑤									
	③ 墓地使用者に対して利用状況の改善指導												
予算費目	会計	一般会計				費目名	衛生費				費		
直接事業費			令和 2 年度決算	令和 3 年度決算	令和 4 年度予算	備考							
	国・県支出金		0 千円	0 千円	0 千円								
	地方債		0 千円	0 千円	0 千円								
	その他特定財源		0 千円	0 千円	0 千円								
	一般財源		4,548 千円	3,826 千円	3,684 千円								
	計(A)		4,548 千円	3,826 千円	3,684 千円								
人件費(B)	正職員工数・経費	0.300 人	1,861 千円	0.300 人	1,894 千円	0.300 人	1,894 千円						
	臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円						
全体事業費(A+B)		6,409 千円		5,720 千円		5,578 千円							
一次評価者	環境対策係	総合評価点	B	必要性	4	有効性	4	達成度	2	効率性	3	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	住民生活上ニーズが無くなることは無く、市営墓園の継続した維持管理は、欠かすことのできない事務事業です。												
有効性	事業の継続により、着実な市民サービスの提供に繋がるため有効です。												
達成度	トイレ清掃、通路の雑草刈取等の委託により、良好な環境の維持管理に努めていますが、各個人に販売した区画については管理が行き届いておらず、指導件数は増加傾向にあります。												
効率性	人件費の上昇により、委託料は上昇傾向にあります。												
当面の課題	使用者の方による、墓地へのお供え物、朽ちた塔婆等のごみの放置があり、対応に苦慮しています。												
改計画	墓地使用者に対して、ごみの持ち帰り等の啓発のための看板設置や墓地購入者に対し案内文を送付する等の対策をします。												
二次評価者	環境保全課長	総合評価点	B	必要性	4	有効性	4	達成度	2	効率性	3	今後の方向性	方法改善
二次評価での指摘事項	3・4号区のトイレが老朽化しています。墓園利用者の利便性を考えると、1・2号区のトイレのように改築する必要があります。また、墓地使用許可を受けた方の転居や死亡などにより連絡先が不明となっている区画が見受けられることから、調査が必要です。												

No.	012	—	2003	事務事業名	エコ・キッズ支援事業						公的関与	8	
PLAN	課名	環境保全課		係名	新エネ推進係		電話番号	089-964-4415		メールアドレス	kankyohozen@city.toon.ehime.jp		
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営		実施計画	該当	事業期間	平成 13 年度 ~			
	総合計画	政策目標	2 安全で快適な社会基盤のまち		政策項目	3 環境施策の総合的推進			主要施策	1「環境先進地・東温」づくりの総合的推進			
	事業の目的	今後起こりうる環境問題に対応できる意識の高い子どもを育てるため。						根拠法令等					
	事業の手段	各年齢層に応じた環境教育を実施します。						掲載計画	第2次東温市環境基本計画、東温市スマートエコタウン計画				
	達成度を測る指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	最終目標		
		環境学習や学校が行うエコ活動への児童の参加数		環境学習等に参加した児童に発行するエコキッズポイントプログラムのポイント数(1回参加につき1児童1ポイント獲得)			ポイント	目標	7,000	8,000	8,000	8,000	
								実績	7,352	5,866			
								目標					
								実績					
						目標							
DO	活動内容	①	乳幼児期から始める環境教育支援事業(とことこクラブ)の実施				④						
		②	愛媛大学・愛媛県等と連携した「とうおんe-program」の実施				⑤						
		③	環境教育やエコ活動に取り組む小学生を支援する「エコ・キッズポイントプログラム」の実施										
	予算費目	会計	一般会計			費目名	衛生費			費			
	直接事業費			令和 2 年度決算	令和 3 年度決算	令和 4 年度予算	備考						
		国・県支出金		0 千円	0 千円	0 千円							
		地方債		0 千円	0 千円	0 千円							
		その他特定財源		0 千円	0 千円	0 千円							
		一般財源		1,373 千円	962 千円	1,571 千円							
	計(A)		1,373 千円	962 千円	1,571 千円								
人件費(B)	正職員工数・経費	0.178 人	1,104 千円	0.157 人	991 千円	0.160 人	1,010 千円						
	臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円						
全体事業費(A+B)		2,477 千円		1,953 千円		2,581 千円							
一次評価者	新エネ推進係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	3	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明(一次評価者のコメント)												
必要性	日々解決の重要性が増している環境問題についての理解を深めるために、東温市版ESD(環境教育)の展開を進めています。環境意識を高め、将来を担う人材育成に繋げる学習と位置付けています。												
有効性	本事業については、即効性を求めるものではなく、継続することで将来的に効果が得られるものです。ただし、環境の変化等を加味し、適宜内容を見直す必要があります。												
達成度	小学生までの環境教育の取組においては、十分に達成していますが、中学生向けの環境教育において足りていない部分があります。												
効率性	本事業においては、愛媛大学や愛媛県(総合科学博物館等)との連携や企業CSR活動による環境プログラムの活用を図っています。												
当面の課題	全小学5年生を一カ所に集めていたものを各学校での開催に変更したことについては、学校側の移動に要する負担軽減、事業の経費削減等の一定の効果があったものと考えます。開催方法に引き続き、継続した環境学習の場を構築するため内容の見直し、特に中学生を対象とした学習機会の構築が必要だと考えます。												
改訂	現状の事業内容については講師や学校の先生等と連携して内容の見直しを勧めます。また、中学校等の意向を確認しつつ、新たな事業の確立に向けて準備を進めます。												
二次評価者	環境保全課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	3	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	方法改善
二次評価での指摘事項	環境教育は継続して行うことが重要です。現段階では、就学前から小学校までの継続性を持たせたものとなっていますが、課題解決のため、対象となる中学校との協議を開始してください。また、とうおん子ども科学&環境会議からとうおんe-programに名称が変更されましたが、プログラム内容があまり見直されていないことから、名称変更だけでなく学校の意見を取り入れるなどして、よりよい内容となるよう改善を図ってください。												

No.	012	—	2011	事務事業名	美しいまちづくり推進事業						公的関与	8	
PLAN	課名	環境保全課		係名	新エネ推進係		電話番号	089-964-4415		メールアドレス	kankyohozen@city.toon.ehime.jp		
	事業区分	内部管理事務・その他		事業運営方法	直営		実施計画	該当	事業期間	平成 14 年度 ~ 期間設定なし			
	総合計画	政策目標	2 安全で快適な社会基盤のまち		政策項目	3 環境施策の総合的推進			主要施策	1 「環境先進地・東温」づくりの総合的推進			
	事業の目的	市民自らが地域美化に参加し、地域の財産としての河川や景観を保全する取組を行うため。						根拠法令等					
	事業の手段	ボランティア支援制度の運用や各種啓発を行います。						掲載計画	第2次東温市環境基本計画、東温市スマートエコタウン計画				
	達成度を測る指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	最終目標		
		緑のカーテンコンテスト応募件数	応募件数			件	目標	10	10	15	20		
							実績	6	10				
		美しいまちづくりサポーター制度登録団体数	登録団体数			団体	目標	20	20	20	20		
							実績	16	14				
目標													
実績													
活動内容	①	美しいまちづくりサポーター制度によるボランティア清掃支援				④							
	②	市有施設等による緑のカーテン育成				⑤							
	③	緑のカーテンコンテストの実施											
予算費目	会計	一般会計				費目名	衛生				費		
直接事業費		令和 2 年度決算	令和 3 年度決算	令和 4 年度予算	備考								
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円									
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円									
	その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円									
	一般財源	498 千円	405 千円	483 千円									
	計(A)	498 千円	405 千円	483 千円									
人件費(B)	正職員工数・経費	0.616 人	3,822 千円	0.503 人	3,175 千円	0.510 人	3,219 千円						
	臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円						
全体事業費(A+B)		4,320 千円	3,580 千円	3,702 千円									
一次評価者	新エネ推進係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	3	達成度	2	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	市の景観を維持することは行政が取り組むだけでは難しく、市民の環境美化への意識向上、取組の推進を図ることも重要であることから、本事業は必要です。												
有効性	美しいまちづくりサポーター制度については、年々団体数が減少しているため、団体数を増やすために広報やホームページでの制度の周知を図る必要があります。												
達成度	美しいまちづくりサポーター制度の団体数は年々減少傾向にあるものの活動を実施する団体数は微増していることから現状維持はできています。												
効率性	各施設での緑のカーテン育成のための苗配布について、より効果的な活動とするため、定期的に各施設での生育状況の確認を行う必要があります。												
当面の課題	美しいまちづくりサポーター制度の活動団体の高齢化が進み、活動を辞退するケースが増えており、また、登録はしているものの、制度を活用していない団体がいることです。団体の活動状況の把握や、制度の周知、活用を推進する必要があります。												
改計画	美しいまちづくりサポーター制度を活性化させるため、広報やホームページなど様々な手段を活用し周知を行い、認知度の向上を図ります。												
二次評価者	環境保全課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	3	達成度	2	効率性	4	今後の方向性	方法改善
二次評価での指摘事項	美しいまちづくりサポーター制度は、高齢化などにより登録団体数が減少していますが、地域でボランティア活動をされている団体を調査し、事業の案内を行うなど、積極的な制度の周知に努めてください。また、緑のカーテン普及促進事業は、市での実施状況をPRするなどして、普及啓発を図ってください。												